

# 生成AIに関する対応状況

資料2

	具体的な対応状況等
札幌市	職員の内部事務の効率化等の期待ができるが、一方で機密性や回答の正確性の確保に課題があるため今後の取扱いを検討中。
仙台市	デジタル担当部門において、ChatGPT等の行政利用における課題整理やユースケースの把握等に向けた実証を行い、職員向け活用ガイドを作成。
さいたま市	さいたま市教育委員会において、「生成系AI活用研究会」を設置し、教育活動におけるAI活用の可能性について研究を行う。
千葉市	生成AIを活用できる業務の範囲や、活用にあたっての留意点等について検討を行い、庁内における生成AIの活用に関する指針の策定を予定している。
川崎市	活用により業務効率化や職員の負担軽減につながるものと考えており、情報漏洩のリスク等の適切な把握や国等の動向を注視した上で、導入について検討していきたいと考えている。

# 生成AIに関する対応状況

	具体的な対応状況等
横浜市	ELSI（倫理的・法的・社会的課題）の観点や生成AIの品質上の課題について、国や海外における議論の方向性などを注視しながら、市としての活用可能性を検討。6月、国に「生成AI（ChatGPT等）の有効活用に向けたガイドラインの策定」を求める政策提案をとりまとめた。
相模原市	どのような業務で活用が見込めるか、また業務利用する場合の運用ルールなどについて検討を行うため、試験的に導入し実証実験を実施。
新潟市	内部業務でChatGPTの試行利用（希望者による登録制）を開始。試行利用を通じて、こういった分野や場面であれば、効果的・効率的に利用できるのか、どのようなことに留意する必要があるのかなどを有識者の意見も聞きながら検討。
静岡市	関係課によるChatGPT検討グループを立ち上げ、今後試行的に利用し、その結果を基に利用の可否や運用ルールを検討していく。
浜松市	庁内に関係所属で構成する「生成AI利活用検討ワーキンググループ」を設置し、国や他自治体の動向の情報収集を行うとともに、活用の課題や可能性等の調査研究を行う。

# 生成AIに関する対応状況

	具体的な対応状況等
名古屋市	生成AIの業務への活用方法や利用時の課題、導入効果を把握するため、試行実施に向けて準備を進めている。
京都市	将来有望な技術の一つであり大きな可能性を感じているが、誤りが多いなどの課題もある。利用を禁止してはいないが、現時点では業務上の参考やヒントとする段階と考えている。国の議論も注視しつつ、研究を深めていく。
大阪市	令和5年4月下旬に調査・活用検討チームを設置し、市民サービスの向上及び業務の効率化に向け、本市の業務における利活用の可能性を検討。
堺市	市民サービスの向上と行政運営の効率化が図られ職員の働き方改革に繋がる可能性があることから、課題への対応を含め生成AIが活用できるかを検討。
神戸市	生成AIを利用する際に職員が遵守すべき事項を定めた条例を制定。庁内に構築した安全な試行環境で、業務利用における課題の把握と活用に向けた検証を実施中。

# 生成AIに関する対応状況

	具体的な対応状況等
岡山市	市民サービスの向上や業務の効率化を目的に、庁内での生成AIの利用に関するルールを定め、6月からChatGPTの試行を始めた。
広島市	市民サービスの向上と業務の効率化を図ることを目的に、行政内部における文章作成の補助的なツールとして活用を検討。
北九州市	市民サービスの向上や職員の働き方改革に向け、生成AIの活用法や課題をまとめていく官民合同のワーキングチームを立ち上げ、活用のあり方を検討。
福岡市	職員を対象として活用のアイデアを自由に出し合う意見交換会を実施。出たアイデアのうち実現可能性が高いものについて、実装に向けた検討を進めている。
熊本市	業務の効率化や市民サービスの向上を図るため、検証チームを立ち上げ、生成AIの導入に向けた実証実験を開始。 (期間：令和5年6月1日～令和5年8月31日)